

大和屋 設計・施工マニュアル【置敷フローリング】

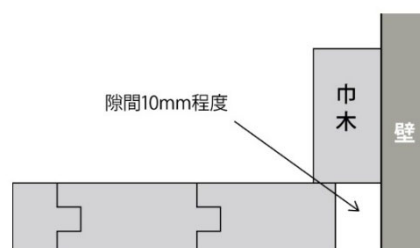
設計・施工の前に必ずお読みください

設計のご注意

- 各商品は天然木を利用した商品であるため、1枚1枚全て木目や色味の濃淡が異なります。サンプル・カタログの色の違いは、自然の木材ゆえの特徴ですのでご了承ください。
- 湿気の多い地域や場所へのご使用は避けてください。
- 本商品は屋内専用です。屋外でのご使用は避けてください。
- 開口部や配管まわりなど結露が懸念される場合でのご使用は設計上ご配慮ください。
- 床暖房と併せてご使用の場合は、必ず床暖房対応フローリングをご使用ください。原則、温水式低温床暖房（表面温度 27℃）のみのご対応となります。床暖房非対応フローリングや温水式低温床暖房以外と併せて使用して発生した不具合につきましてはご対応できません。
- 床下換気孔の位置と数は建築基準法施行令に従ってください。
- 外壁の床下部に壁長さ5m以下毎に300cm²以上の換気孔を設置してください。
- 床下の湿気が特に高い場合は、地盤全体に厚さ60mm以上のコンクリートの打設、または防湿フィルムを敷くなどして、防湿処理を行ってください。
- 冷暖房機器や空調設備の風が継続して直接当たると、過度の乾燥による収縮や割れ等の原因となりますので、設計上ご配慮ください。

施工の前に

- 直射日光や雨の当たる場所、湿度が高い場所での保管は避けてください。
- 立て掛けての保管は反りや曲がりの原因となります。必ず平置きにして保管してください。
- 現場の環境に馴染ませるため、納品後梱包を開け、丸一日以上置いてから施工してください。
- 天然木は一枚一枚木目や色味が異なります。施工の前に必ず仮並べをおこなってください。
- 施工前に必ず下地の含水率が12%以下であることをご確認ください。
- 置敷フローリングの浮き上がり・突き上げを防ぐ為に、下記について特にご注意ください。
 - ・実の破損、ゴミの詰まり等が無いのか、予めご確認ください。
 - ・古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。膨張率が異なるため、実がぴったりと合わない恐れがあります。どうしても一緒に使う場合は、同じ場所で1週間程度、環境に馴染ませてから施工してください。
 - ・突き上げの原因となりますので、部屋の四方に10mm程度ずつクリアランスを設け、巾木や見切り材等で隠してください。巾木の施工が難しい場合、クッション材（エキスパンションゴム）を挟んでください。



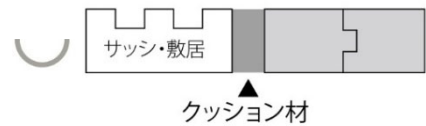
※出入り口がある場合、1 辺ないし連続する 2 辺は突き付けでも施工可能です。その場合、突き付けでない辺のクリアランスは 15mm 必要です。

- ・フローリングを下地へ固定すると割れなどの原因となります。のり・釘による下地合板への固定は決してしないでください。

※重量物（大型金庫、ピアノなど 100kg を超えるようなもの）

や床に固定する家具を設置する場合は、見切りをつけ縁を切ります。

- 品質には万全を期しておりますが、お気づきの点や不良品がございましたら、施工前に必ずご相談ください。施工後の交換にはご対応できません。



用意するもの

- 0.2 mm厚 ポリエチレンシート + 専用テープ
- クッション材（エクスパンションゴム等）
- パッキン（10mm厚程度）
- クサビ

施工の手順

①シーズニング

- ・現場の環境に馴染ませるため、開梱して丸一日置きます。

②清掃

- ・下地表面の木屑や埃を、掃除機をかけて丁寧に吸い取ってください。

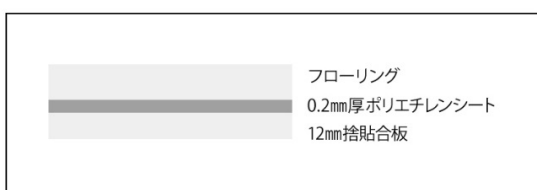
③下地確認

- ・下地面の床鳴り、たわみ、目違い、釘の締め忘れが無いかを確認してください。

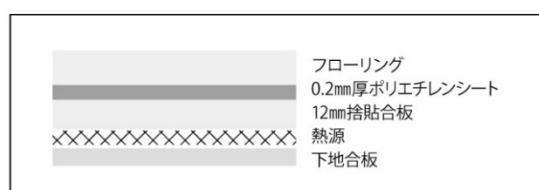
④ポリエチレンシートを敷きこむ

- ・ポリエチレンシートは最低 20cm を重ね、床下地に敷き込み、重ねた部分をテープで留めます。
- ・板面側および巾木を覆うように壁際 5cm ほど立ち上げるようにします。
- ・巾木を固定後にカットしてください。
- ・1,2 階とも必要です。

通常の仕様



床暖房を使用する場合



⑤隅出し・割付

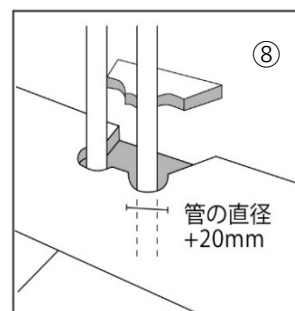
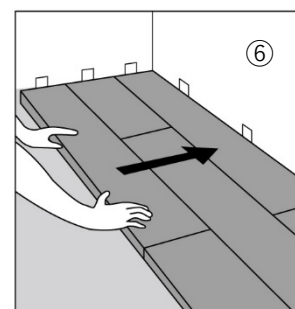
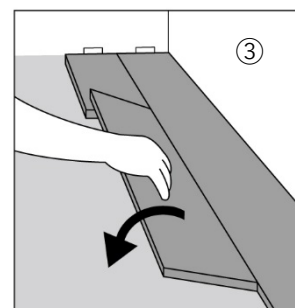
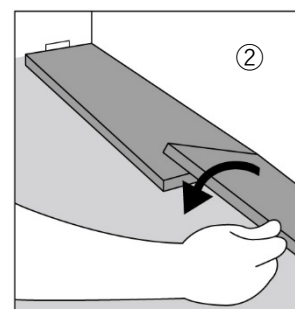
- ・貼り方向と平行に室内の中央に墨出しをしてください。
- ・基準墨を出し、それを基に貼り始め部分と貼り納め部分が同じ長さになるよう割付してください。
- ・壁際（端部）は1枚の巾が1/2以上になるようにしてください。

⑥仮並べ

- ・表面材が無垢のため色や木目に個性があります。施工前に全梱包を開いて色合わせをしてください。
- ・最後の列は場合により、巾をカットする必要があります。その際に壁とのクリアランスを10mm取った状態で、50mm未満の巾にならないよう、必ず割付をご確認ください。

⑦施工

- 1) 右側のコーナーから貼り始めます。雄実（おざね）を手前にして壁にあわせませす。短手の壁側には10mmのスペーサーをかませて壁との間にクリアランスを取ってください
- 2) 2枚目の床板の長手を1枚目と同じように壁に合わせ、手前を持ち上げ、短手の雄実に雌実が重なるように手前に倒し、しっかりとはめ込みます。これを繰り返して1列目を完成させます。
- 3) 1列目の最後の床板は部屋の長さにあわせてカットします。その際、壁際に10mmのクリアランスを取るのを忘れないようにしてください。
- 4) 2列目の貼り始めは1列目の最後にカットしたものを使用できますが、400mm以上の長さが必要です。また、1列目と2列目の目地が400mm以上離れるように配置してください。
- 5) 2列目は、長手の手前を上げた状態で実にはめ、短手の実が重なるようにスライドさせて、手前に倒してはめ込みます。
- 6) 3列目を貼り終わった段階で、長手側の壁との間にスペーサーを使用して10mmのクリアランスを取ります。4列目以降は上記を繰り返します。
- 7) 最後の列は場合により、巾をカットする必要があります。その際に壁とのクリアランスを10mm取った状態で、50mm未満の巾になっていないか確認してください。
- 8) 配管周りに施工する場合には、管の直径より20mm以上大きい穴を開けるようにカットし、カットした部分をあとからはめ込みます（糊付けはしません）。



- 9) 取り外す際には、実の破損に十分注意してください。まず長手方向の実を手前から持ち上げて外し、短手をスライドさせると外すことができます。短手を持ち上げると実が破損しますのでご注意ください。

施工の後に

●施工終了後、掃除機をかけて乾いた雑巾やモップで木屑や埃をきれいに拭き取ってください。

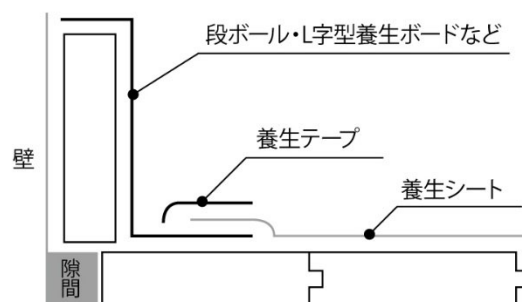
●**フローリングに直接養生テープを貼らないでください。**

表面にテープののりが残ったり、木材表面の繊維や塗装が剥がれるおそれがあります。

●養生中もテープの剥がれが無いかを都度確認してください。隙間から小石やゴミ等が入ると、表面のキズやへこみの原因となります。

●床全体を養生シートで覆ってください。一部が露出すると、日焼けして色むらになってしまいます。

●掃除・メンテナンス方法についてはユーザーマニュアルをご覧ください。



免責事項 下記が原因として発生した不具合は、免責とさせていただきます。

●天然木の特徴によるもの

- ・色違い ・木目・節の違い ・ヤニ ・経年による変色
- ・伸縮 ・軽微な反り・割れ ・キクイムシなどの虫の発生

●水などを放置して発生した染み・変色・カビ・膨れ・反り

●キャスターなど過度の加重や衝撃によって生じるへこみ・キズ・破損・汚れ

●下地の不陸など本製品以外が原因によるもの

●設計・施工マニュアルに基づかない設計・施工で発生した不具合

●ユーザーマニュアルに基づかない掃除・メンテナンスで発生した不具合

●不適切な保管状況が原因で発生した反り・キズ

●不適切な養生により発生したキズ・色むらなどの不具合

●その他天災等によるもの

※施工後の返品やクレームにはご対応できません。

万が一商品に問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。

大和屋 株式会社

住所：埼玉県熊谷市問屋町 4-1-7

電話：048-526-1001 FAX：048-526-1011 メール：call@yamatoya-kk.co.jp

ホームページ：http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/